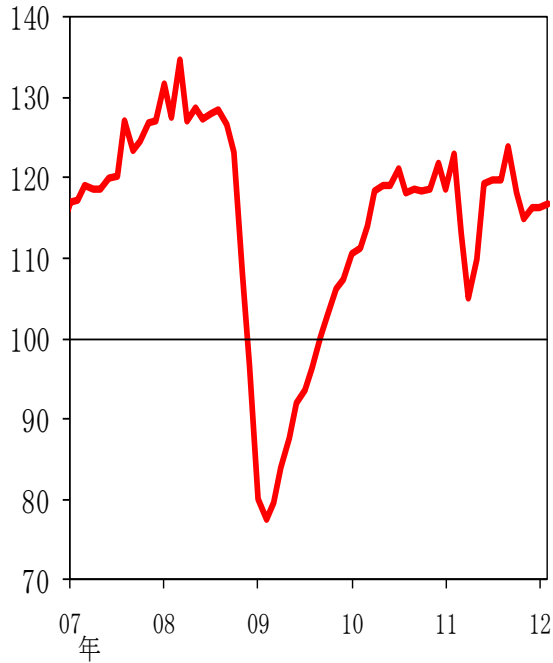


最近の日本経済

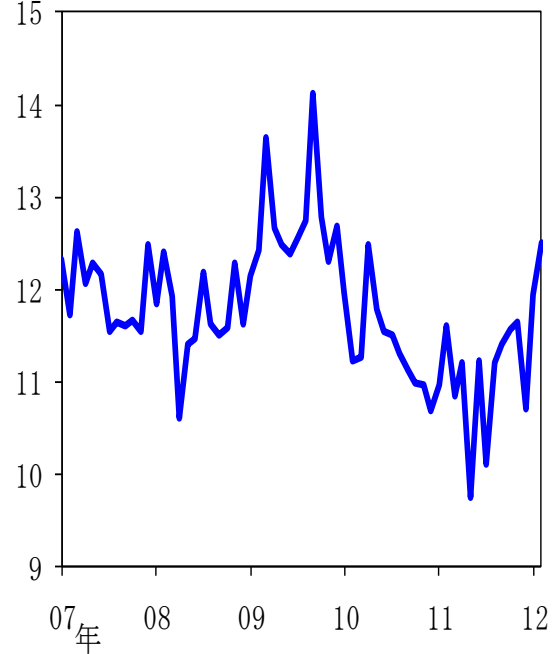
(1) 実質輸出

(季調済、2005年=100)



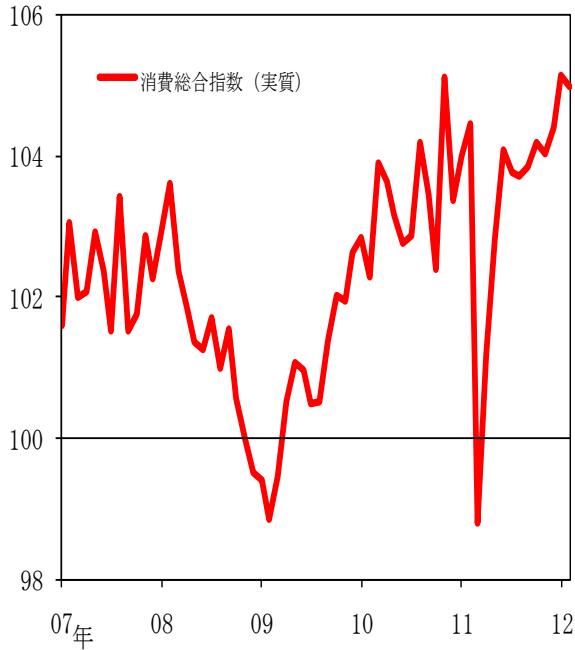
(2) 公共工事請負金額

(季調済年率換算、兆円)



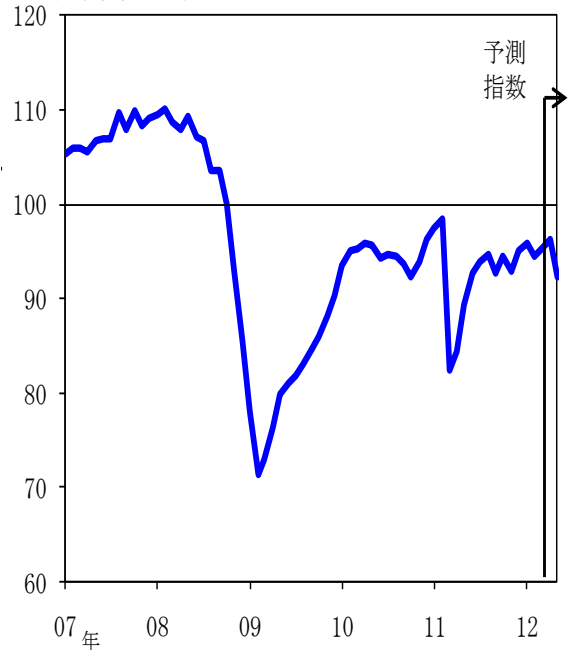
(3) 個人消費

(季調済、2005年=100)



(4) 鉱工業生産

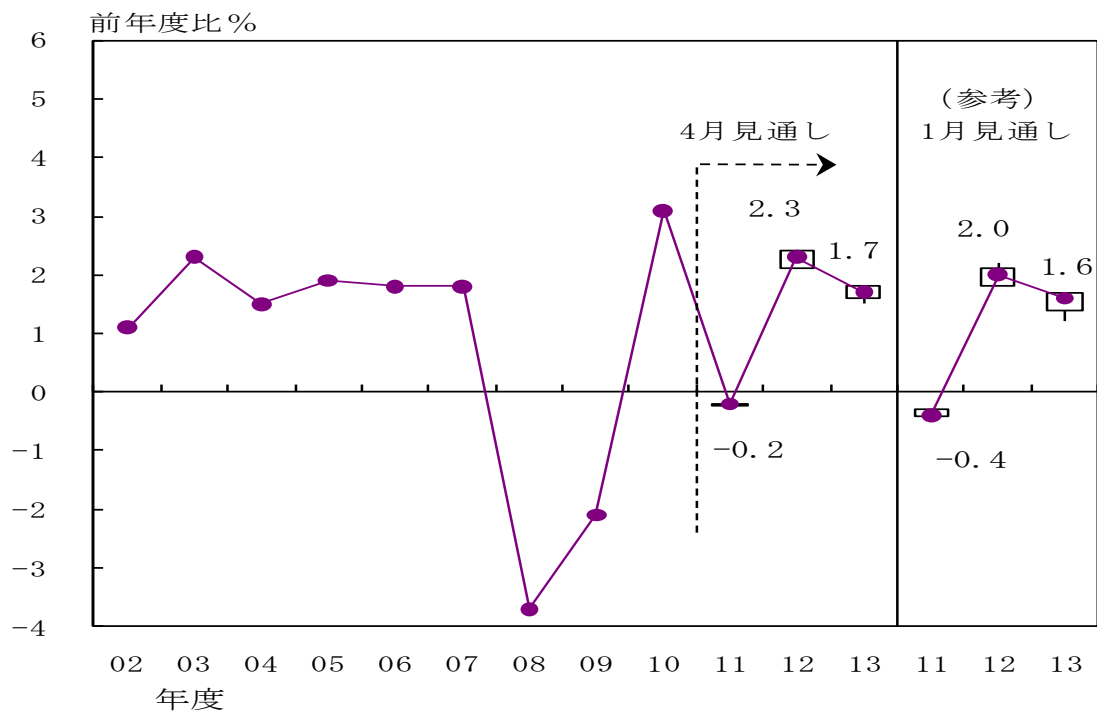
(季調済、2005年=100)



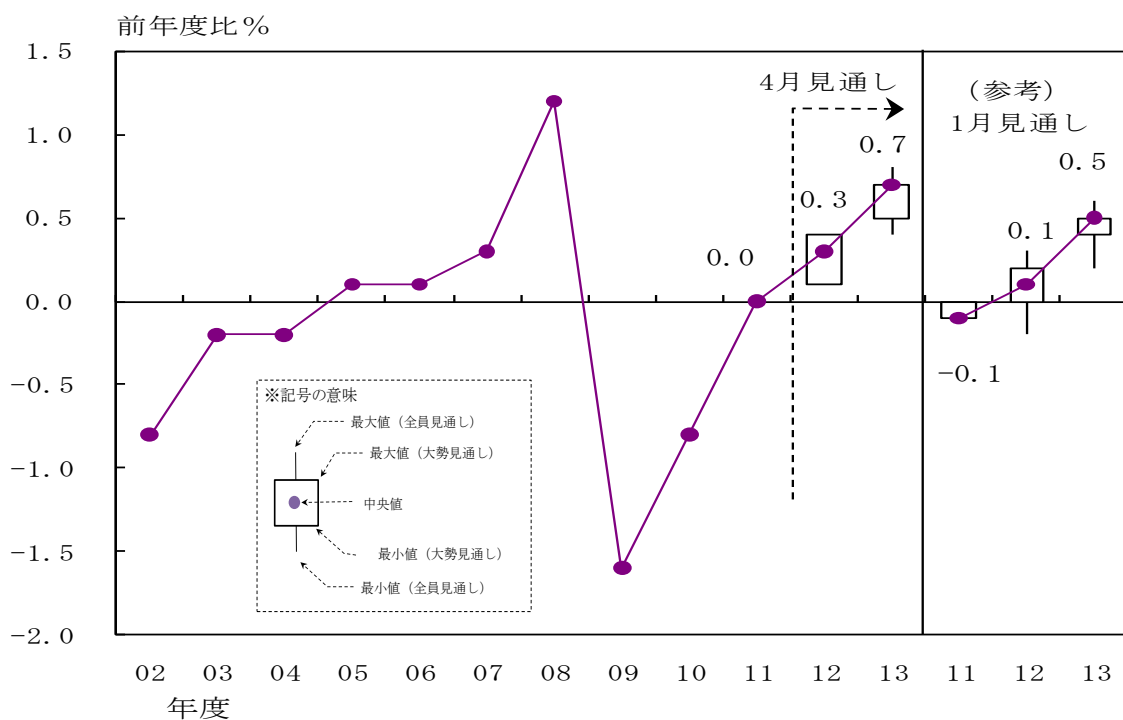
(資料) 内閣府、経済産業省、東日本建設業保証、日本銀行

経済・物価の見通し (展望レポート)

(1) 実質 GDP



(2) CPI (除く生鮮)



(注) 2010 年度までは実績。グラフ中の計数は政策委員見通しの中央値。

(資料) 日本銀行「経済・物価情勢の展望」

日本銀行の金融政策運営

(1) 「中長期的な物価安定の目途」の導入

- ✓ 中長期的に持続可能な物価の安定と整合的な物価上昇率
- ✓ 消費者物価の前年比上昇率で「2%以下のプラス」の領域。当面は「1%」を目標

(2) 緩和姿勢の明確化

- ✓ 当面、消費者物価の前年比上昇率「1%」を目指す
- ✓ それが見通せるようになるまで、実質的なゼロ金利政策と金融資産の買入れ等の措置により、強力に金融緩和を推進
 - 金融面での不均衡の蓄積を含めたリスク要因を点検し、経済の持続的な成長を確保する観点から、問題が生じていないことが条件

(3) 資産買入等の基金の増額

- ✓ 55兆円程度(従来) → 65兆円程度(2012年2月) → 70兆円程度(2012年4月)
 - 日本銀行は、資産買入等の基金とは別に、年間21.6兆円の長期国債の買入れを実施

成長基盤強化支援の拡充

「成長基盤強化を支援するための資金供給」を円貨、外貨の両面で大幅に拡充
(2012年3月決定)

金融機関に対し、成長基盤強化に向けた融資・投資の実績額の範囲内で、長期(最長4年)かつ低利(現在0.1%)の資金を供給

(1) 本 則

- ✓ 3.0兆円⇒3.5兆円 (1,000万円以上の投融資が対象)

(2) 小口特則

- ✓ 新たに5,000億円 (100万円以上1,000万円未満の投融資が対象)

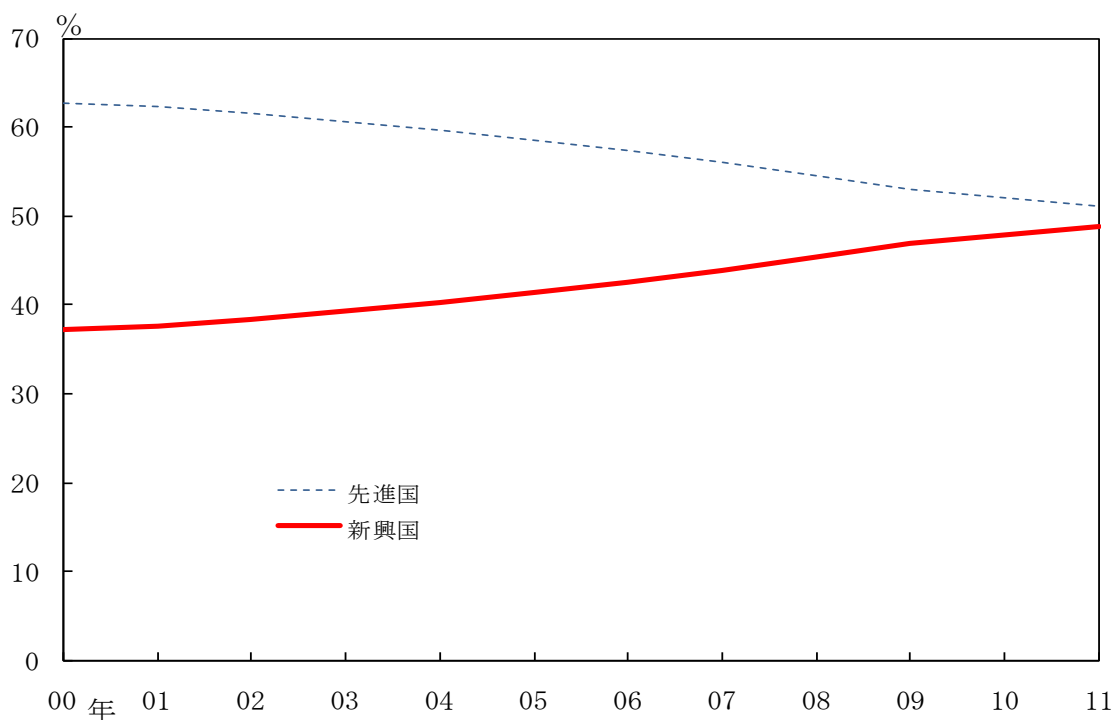
(3) 米ドル特則(2012年4月導入)

- ✓ 新たに1.0兆円<120億ドル> (外貨建て投融資が対象)

A B L 特則 (動産・債権担保融資等が対象) と合わせて資金供給の総額を3.5兆円から5.5兆円に増額。新規貸付の受付期限は、2014年3月末。

(図表 5)

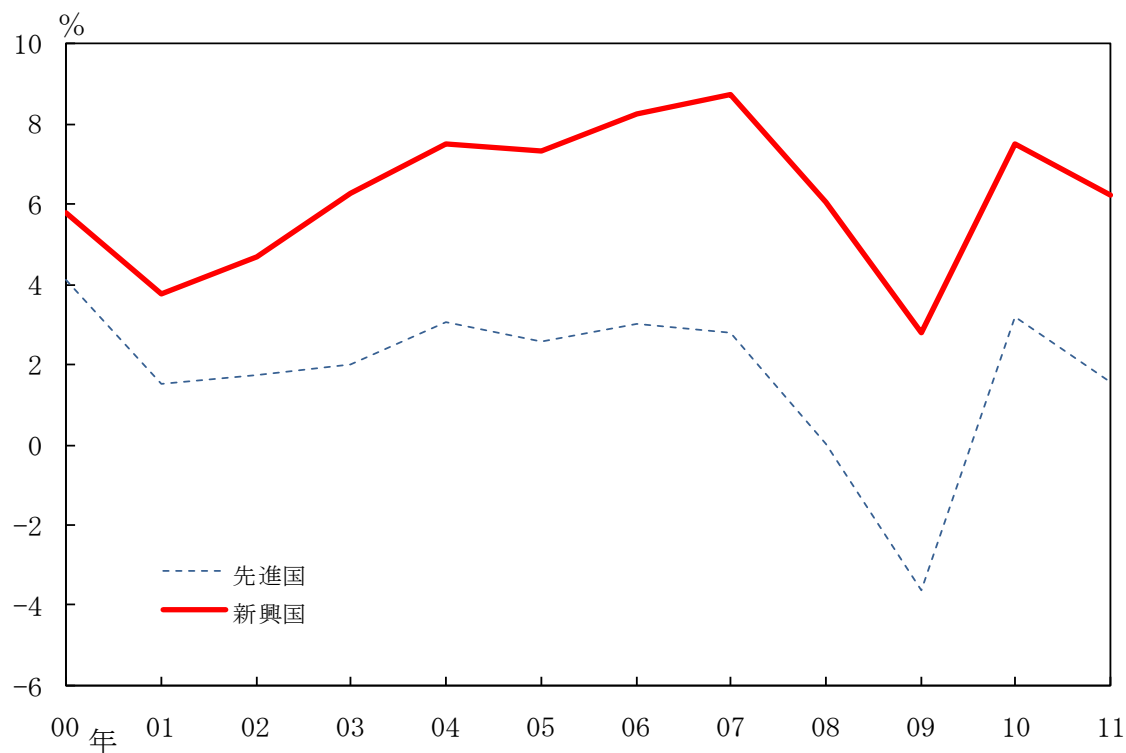
世界GDPに占める先進国・新興国のシェア



(資料) IMF 「World Economic Outlook」

(図表 6)

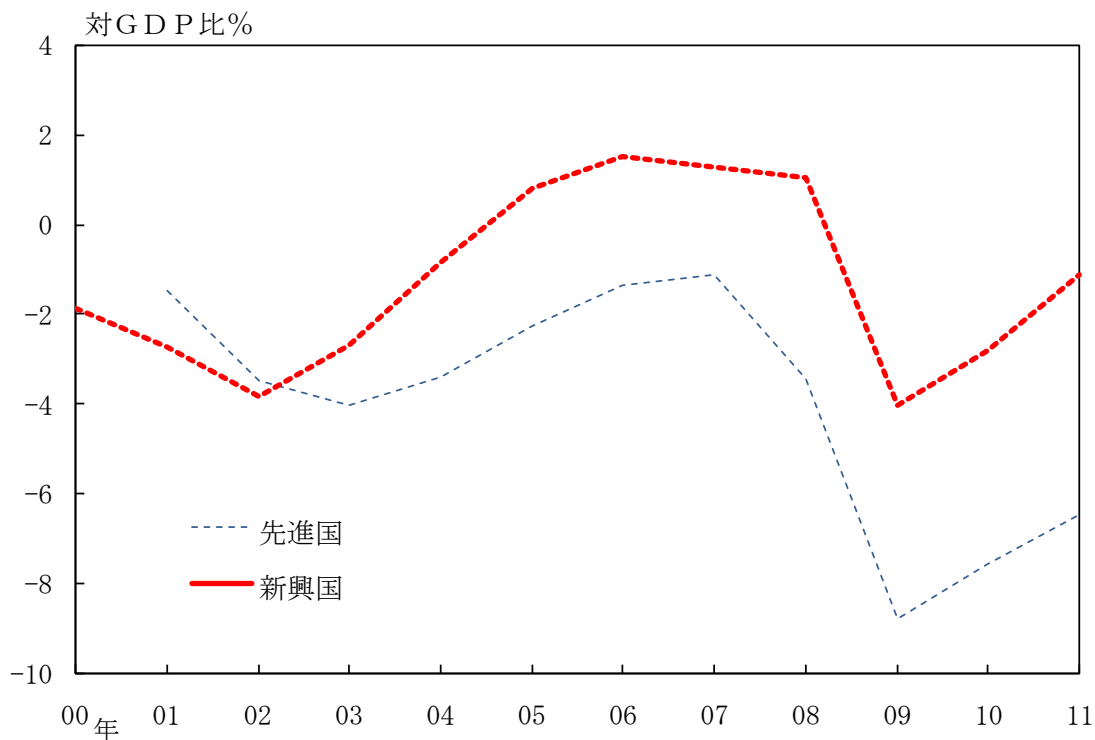
先進国・新興国の経済成長率



(資料) IMF 「World Economic Outlook」

(図表 7)

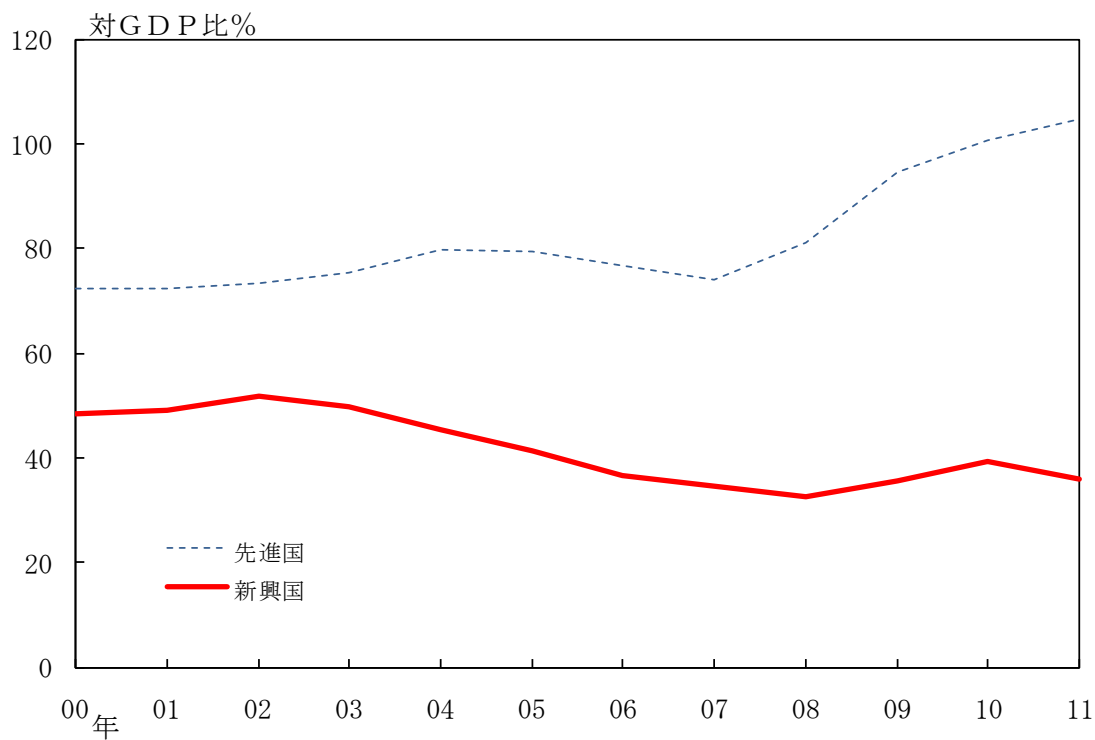
先進国・新興国の財政赤字の規模



(資料) IMF 「World Economic Outlook」

(図表 8)

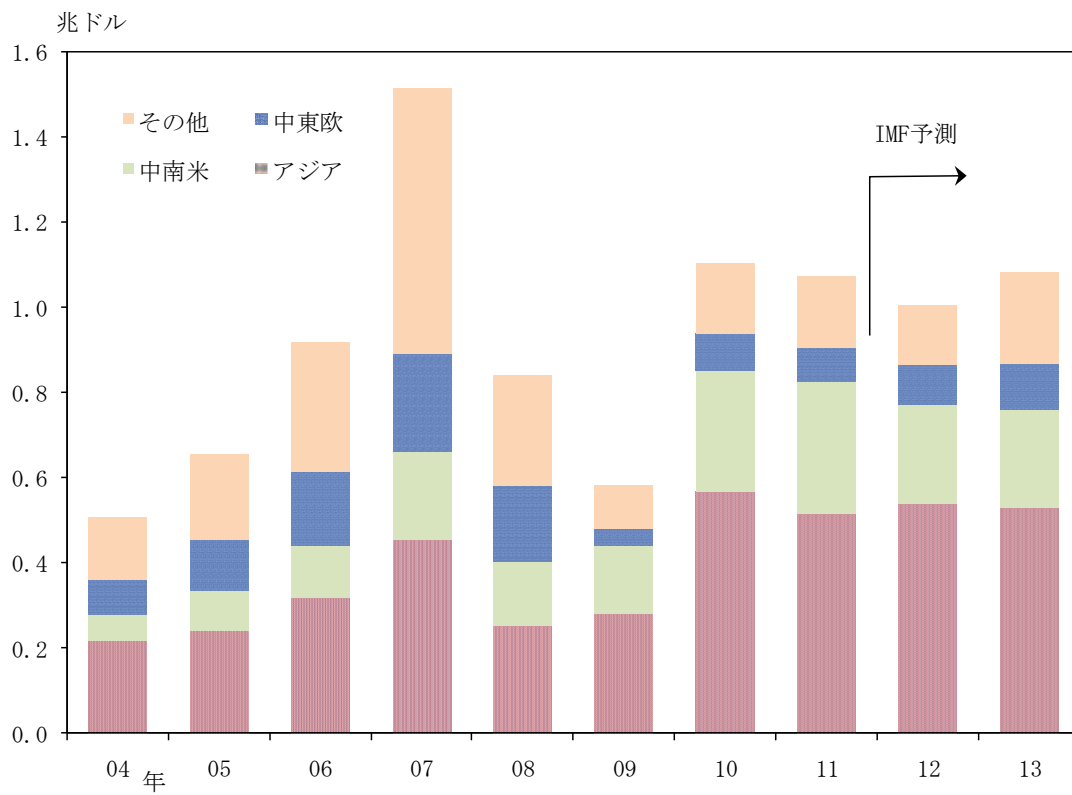
先進国・新興国の政府債務の規模



(資料) IMF 「World Economic Outlook」

(図表 9)

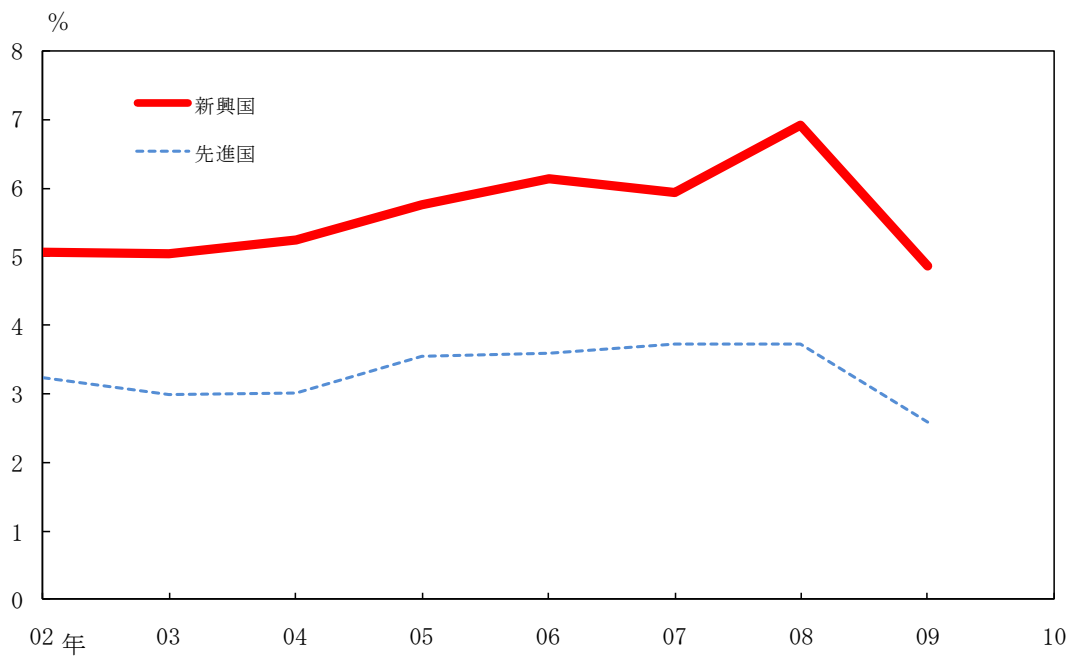
新興国の民間セクターへの資本流入額



(資料) IMF「World Economic Outlook」

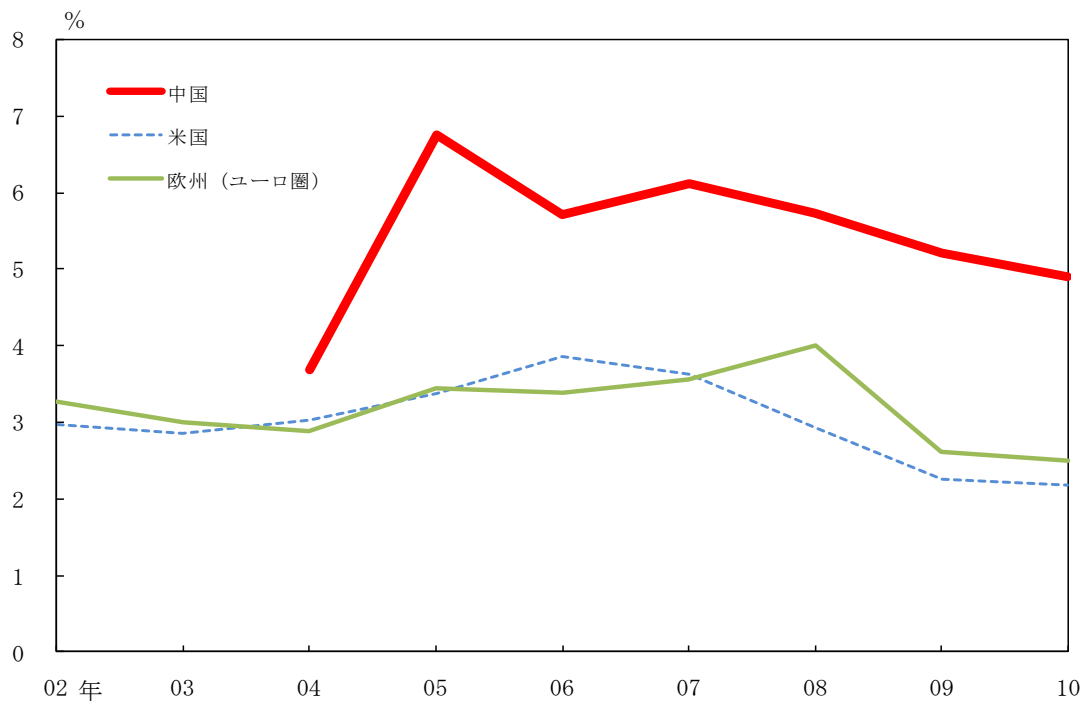
(図表 10-1)

先進国・新興国の投資収益率



(図表 10-2)

主要国・地域の投資収益率

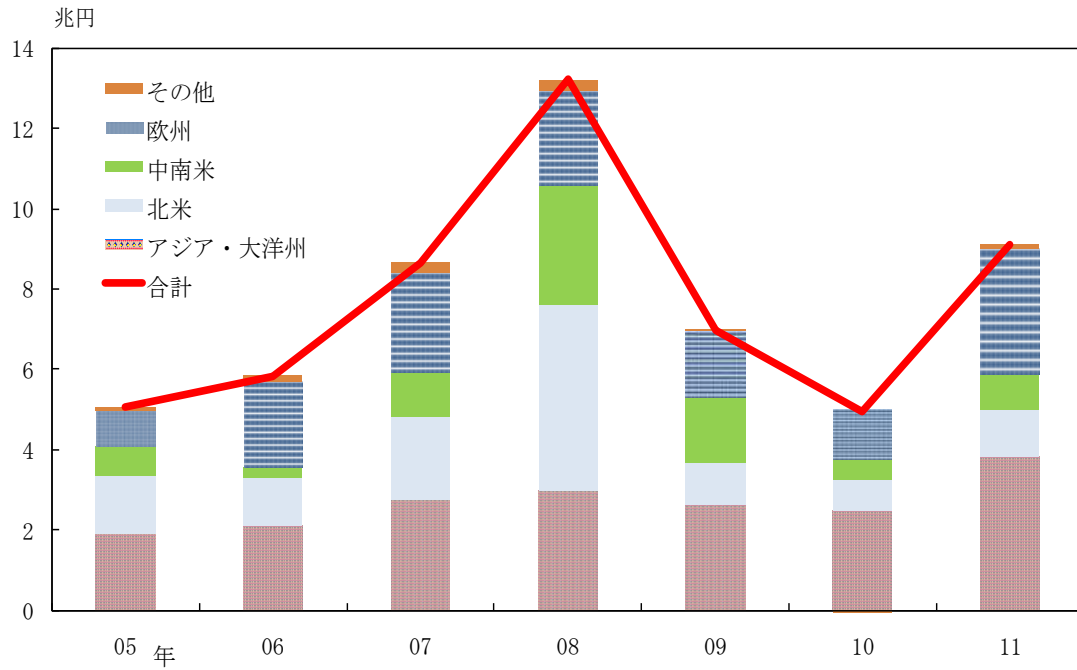


(注) 投資収益率 = 当該諸国の所得収支の流出額 / 対外負債

(資料) IMF 「International Financial Statistics」

(図表 11)

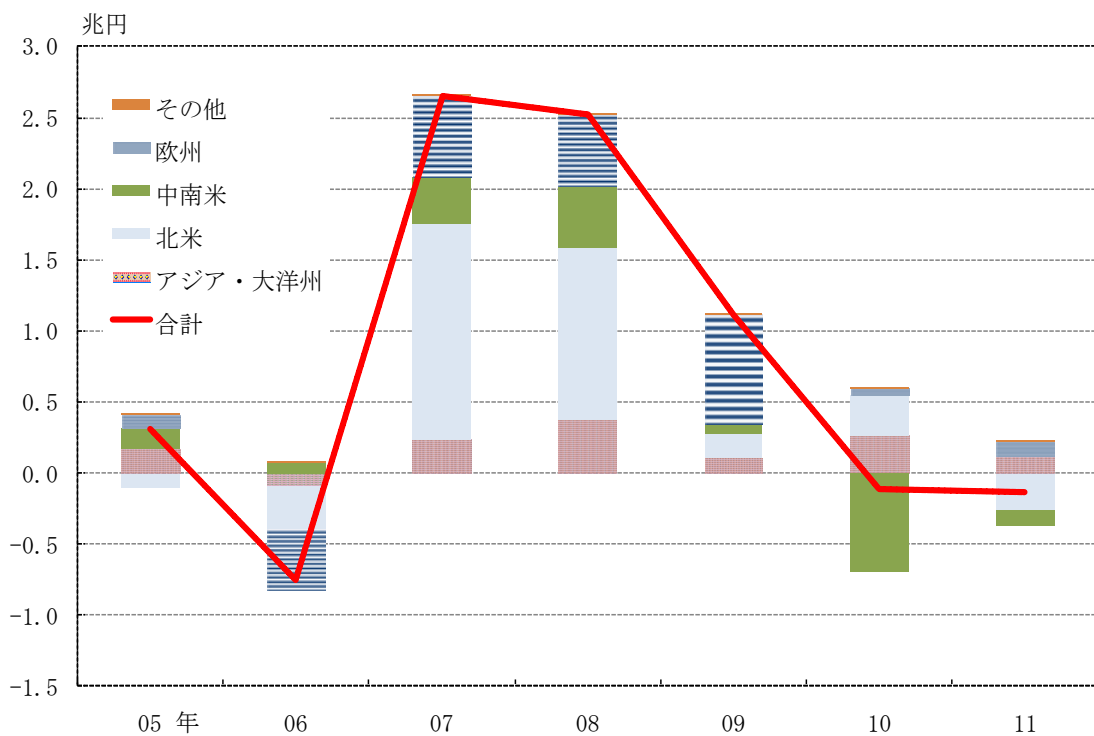
日本の対外直接投資額



(資料) 財務省「国際収支状況」

(図表 12)

日本の対内直接投資額

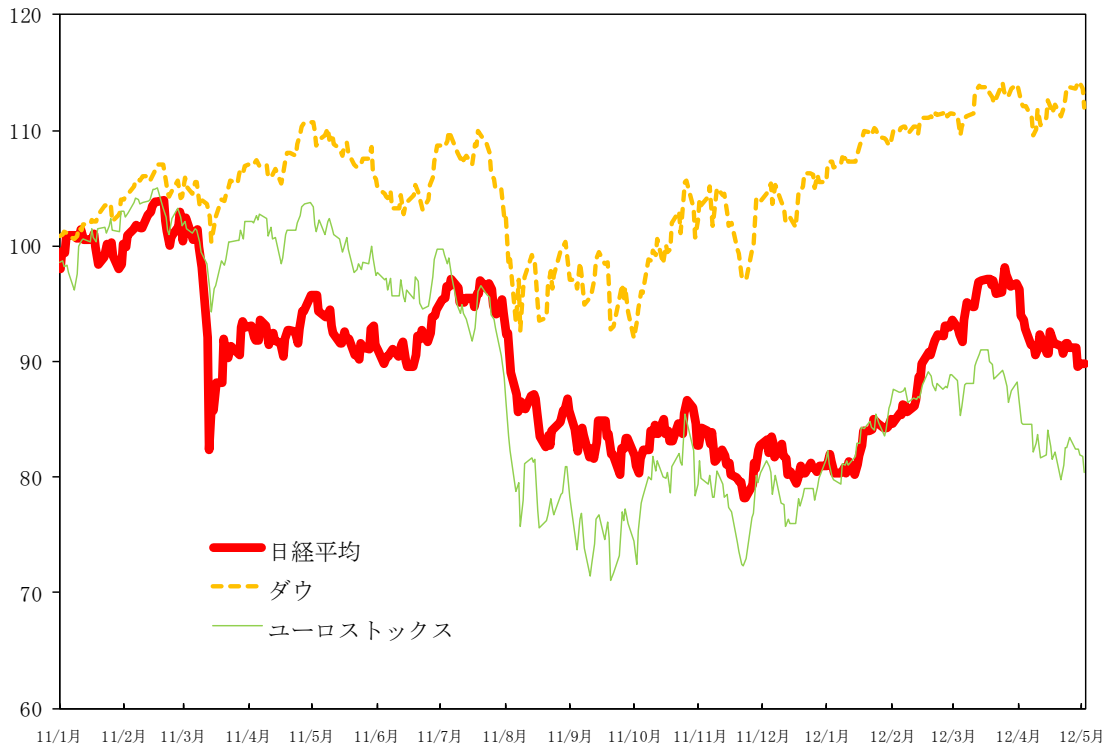


(資料) 財務省「国際収支状況」

(図表 13)

日米欧の株価

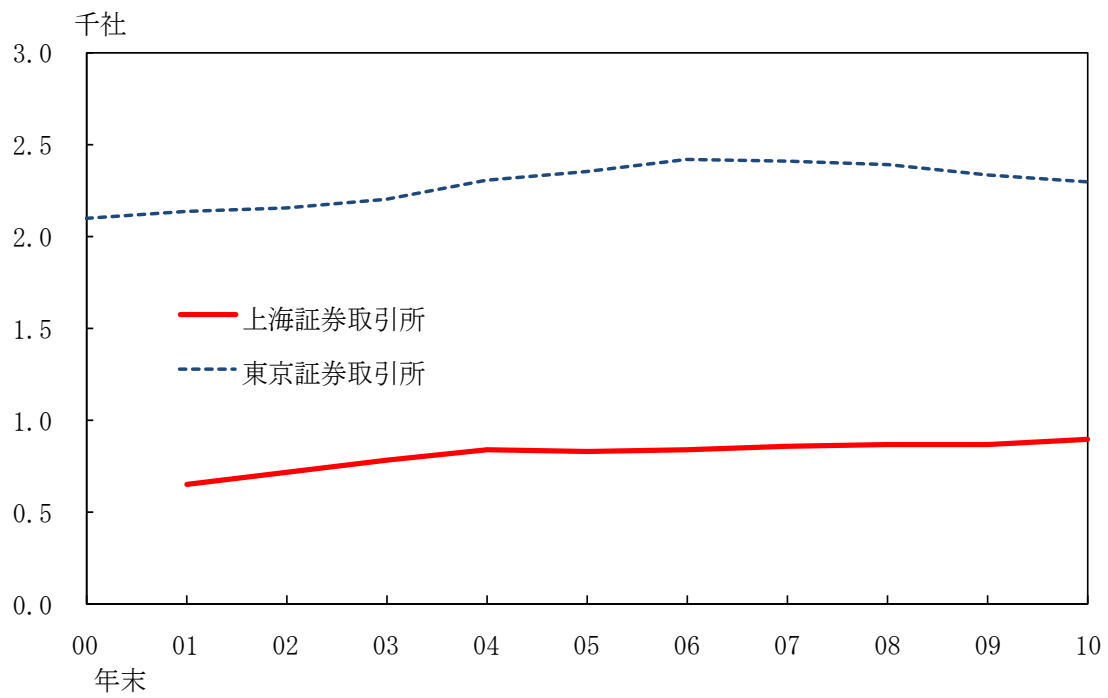
2011年1月 =100



(資料) Bloomberg

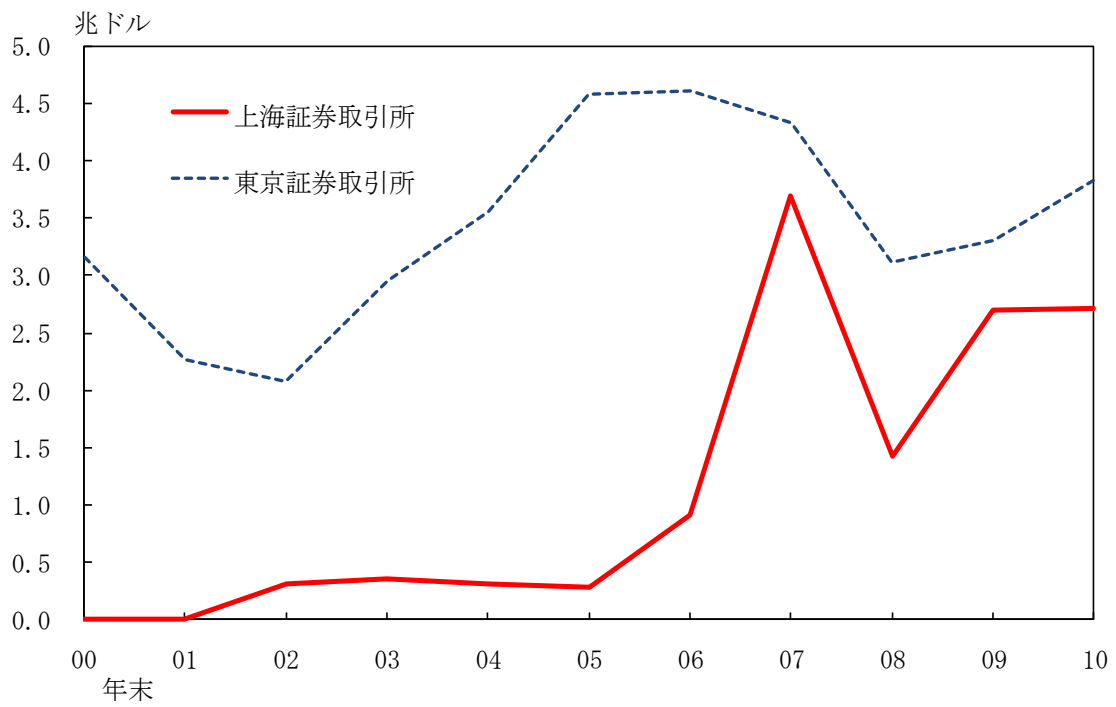
(図表 14-1)

日本と中国の上場企業数



(図表 14-2)

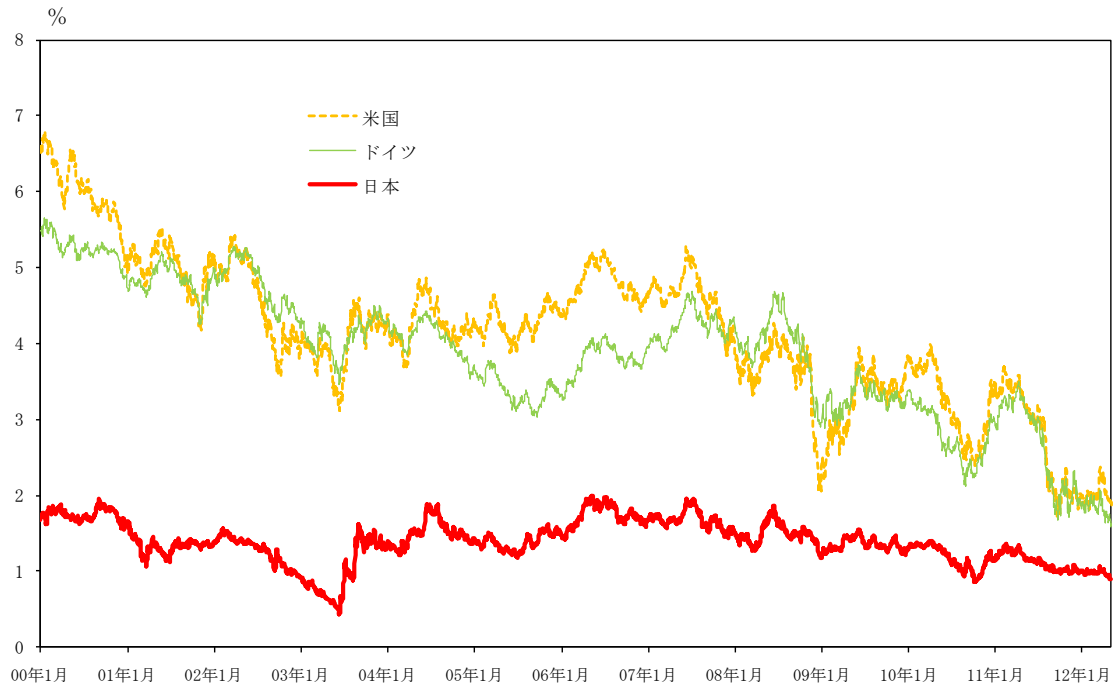
日本と中国の株式の時価総額



(資料) World Federation of Exchanges

(図表 15)

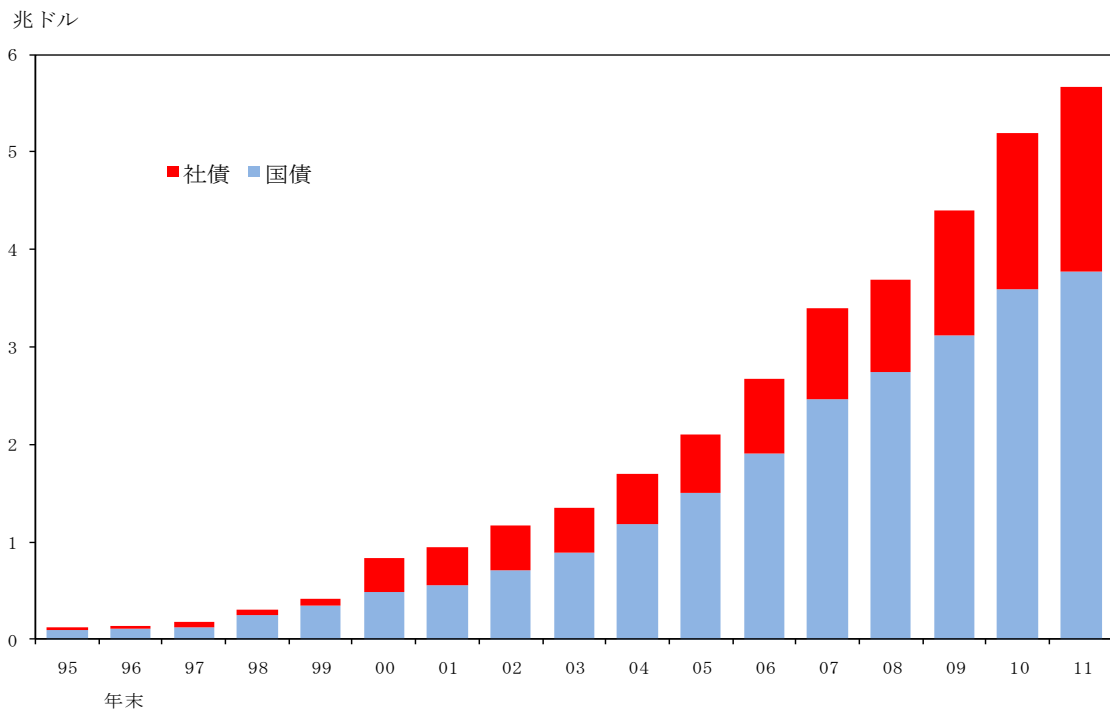
日米欧の長期金利



(資料) Bloomberg

(図表 16)

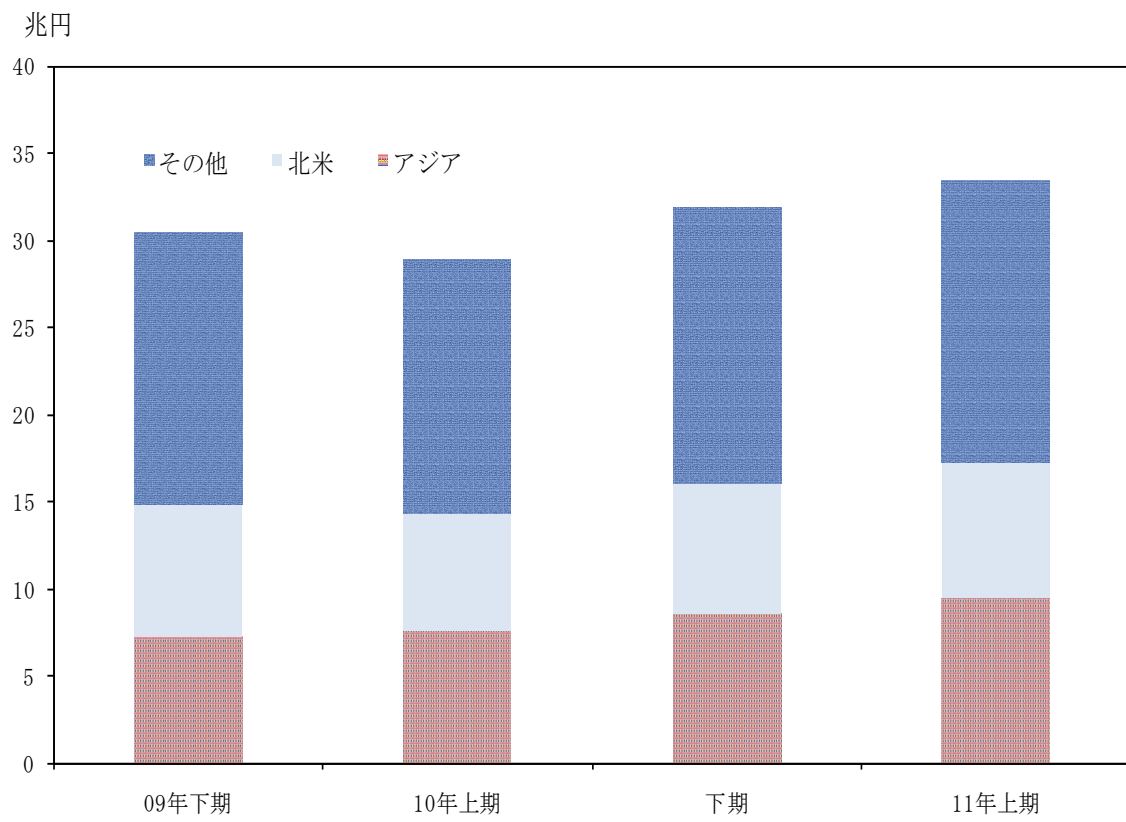
アジアにおける債券発行残高



(注) 自国通貨建て。日本を除く。

(資料) ADB

日本の金融機関の海外貸出残高



(注) メガバンク合計。

(資料) 各社決算発表資料